

「やさしい日本語」文とは、以下のルールを守って作られたものをいう。」

I. 文の構造を簡単にし（文章を解体し）、文の長さを短くする。おおよそ、35字以内とする。

- 1) 連用中止や連体修飾節による複文（重文）は避ける。
※ 「地震の揺れで壁に亀裂が入ったりしている建物に近づかないでください」
⇒ 「地震で壊れた建物に 気をつけてください」
- 2) ことばのまとまりを認識しやすいよう、短いポーズを多く用いる。
- 3) 文末表現を簡単にする。
※ ～と呼びかけています ⇒ ～してください
- 4) 接続助詞や接続表現などをできるだけ使わないようにする。
※ ～ものの、～ほか、～をはじめ、～うえ、～など、～とともに、～ための多用を避ける。

II. キーワードにはなるべく分かりやすい言葉を使用し、文の始めの方に持っていくようにする。

III. 難しい言葉（語彙）を簡単なものに置き換える。

- 1) 基本的な語（約 2000 語：外国人のための日本語能力でいうと 3 級程度）だけを使用する。
※ 「火災が発生しました」はわからないが、「火事がおきました」は分かる程度。
ただし、災害時によく使われる重要な用語とやさしい日本語を一緒に使う。
多少難度の高い言葉でも、繰り返し使われ、知っておくことが重要と思われる言葉はそのまま使い、その後に置き換えたり、あるいは説明の表現を続けて用いる。

消防車 ⇒ 消防車<火を消す車>
災害時によく使われることば ⇒ 言い換えたことば

- 2) リーディング・チュウ太の「レベル判定ツール」で語彙判定を行い、2 級以上のものを 3 級以下の用語になるように置き換え、作成した文章が “とてもやさしい” になるようにする。

IV. まぎらわしい表現を使用しない。

- 1) カタカナ外来語の使用をできるだけ避ける。
 - ・ダイヤル……………言語とは意味が違うので通じないため
 - ・ライフライン……………言語とは意味が違うので誤解を招くため
 - ・デマ……………原語では行われない省略なので意味が通じないため
- 2) 否定の表現は使用を最小限にする（肯定表現にできるものは、肯定表現を用いる）。また、二重否定の表現も避ける。
※ 「通れないことはない」 ⇒ 「通ることができます」「通れます」
「～しないでください」 ⇒ 「～することができません」
- 3) 動詞を名詞化したものも分かりにくいので、できるだけ動詞文にする。
※ 揺れがあった ⇒ 揺れた
- 4) 複合名詞や複合動詞は、二つに分けるか、別の表現に置き換える。
※ 乳幼児（＝乳児＋幼児） ⇒ 赤ちゃんや小さい子ども
走り回る（＝走る＋回る） ⇒ 走る

- 5) 「非常に」など、程度を表す副詞や形容詞は、特に強調する必要がある場合を除いて、あいまいさを避けるためにできるだけ使わないようにする。
- 6) 「おそらく…」 「たぶん…」 などの、あいまいな表現はできるだけ避ける。
- 7) 助詞は、できるだけ分かりやすいものにする。
 - ① 主語を表す助詞は「…は」でも「…が」でも どちらでも可
 - ② 方向を指示する助詞は「…へ」でも「…に」でも どちらでも可
 - ③ 時間を表す助詞は、記号「～」ではなく、「…から」に統一する

**V. 表記の点で、漢字を使ったほうが漢字圏の人には分かりやすいという利点がある。漢字が多すぎると、非漢字圏の人には読みにくいので、使用量に注意する。
※なお、漢字にはルビをふる（ふりがなをつける）。**

VII. “やさしい日本語” を使った掲示物を作る際の留意点

- 1) 見出しだけは、できるだけ複数の言語で書く。
- 2) 漢字には、ルビをふる（ふりがなをつける）。
- 3) 文字は大きく書く。ふりがなもできるだけ大きくする。行間も広くとる。
- 4) ローマ字はできるだけ使わない。
- 5) カタカナ外来語はできるだけ使わない。
- 6) できるだけ内容に関連する絵（イラスト）や地図を付ける。
- 7) 1つの文はできるだけ短くする。
- 8) 掲示物を作成した機関や団体の名前を書き込む。
- 9) 作成年月日は必ず書く。できれば掲示年月日や掲示時間も書くことが望ましい。

VIII. “やさしい日本語” 文を読むときの留意点。

- 1) “やさしい日本語” 文を読む速さは、1分あたり 200～250 拍とする。
- 2) 数字は下の表のように読む。

数 字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
読み方	ゼロ	イチ	ニ	サン	ヨン	ゴ	ロク	ナナ	ハチ	キュウ	ジュウ

例外：・4時 = よじ、・7時 = しちじ、・9時 = くじ

□ “やさしい日本語” 文とは いえないもの

- 1) 通常分にただルビ（ふりがな）を付けただけのもの
- 2) 文章の構造がそのまま、語彙だけを「やさしく」したもの
- 3) 文章が全て、ひらがな文になっているもの（漢字を使用していないもの）